

船舶事故調査報告書

平成22年7月1日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年9月6日08時30分ごろ本船が発見された。）
発生場所	不明（本船発見場所は、大分県杵築市臼石鼻灯台から真方位030° 2.4海里付近（概位 北緯33° 26.6′ 東経131° 43.6′）であった。）
事故調査の経過	平成21年9月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 広洋丸、0.99トン OT3-31409（漁船登録番号）、個人所有 4.94m(Lr)×1.45m×0.63m、FRP ガソリン機関（船外機）、22kW（漁船法馬力数）、昭和56年6月8日
乗組員等に関する情報	船長 男性 75歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和50年10月14日 免許証交付日 平成17年4月27日 （平成22年10月24日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	船長は、平成21年9月6日06時00分ごろ、たこ壺漁を行うため自宅を出発し、杵築市奈多漁港に向かった。 08時30分ごろ、奈多漁港東方沖を航行中の漁船乗組員が、無人の本船を発見して118番通報し、10時30分ごろ、本船発見場所から東方2,000m付近において、捜索に当たった海上保安庁のヘリコプターがうつ伏せで浮いている船長を発見した。 船長は、病院に搬送されたが、死亡が確認され、死因は溺死と検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風速 約3～5m/s 海象：波高 小波、潮汐 上げ潮の末期、水温 約25℃
その他の事項	船長は、日ごろ、家族と一緒に操業していたが、事故当日は家族の体調が悪く、1人で出漁した。 発見時、本船は船外機が停止しており、船上にはたこ壺約10個が揚収されたままで、海底に残されたたこ壺とロープでつながっていた。

	本船は、救命胴衣を備え付けておらず、発見時、船長は救命胴衣を着用していなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 死因は溺死であった。 本船は、奈多漁港東方沖で操業中、船長が落水したものと考えられるが、落水した状況については明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船が奈多漁港東方沖で操業中、船長が落水したことにより発生したものと考えられるが、その原因を明らかにすることはできなかった。	